

令和元年8月1日発行

若狭熊川宿まちづくり特別委員会

福井県三方上中郡若狭町熊川

TEL/FAX (0770) 62-0330

熊川宿ホームページ <http://kumagawa-juku.com>

鯖街道 熊川宿

祝！河内川ダム竣工

河内川ダム竣工セレモニー

ど き 令和元年6月9日(日)

ど ころ 若狭町熊川

主 催 北川総合開発対策協議会



計画発表から37年の時を越えて、このほど河内川ダムが竣工しました。

竣工セレモニーでは、杉本福井県知事をはじめ各界から来賓をお迎えし、関係者や地元区民からも参列して盛大にお祝いしました。

河内川ダムは、先人たちの苦渋の決断と紆余曲折を乗り越えて、今日を迎えることが出来ましたこと、実に感慨深いものがあります。

ダムの完成により、洪水の回避はもとより治水の安定が図られ、今後、ダム湖周辺の環境整備が進められ、熊川宿とあわせて交流人口増に期待したいと思えます。

また建設工事に携わって来られた共同企業体の皆様には、平成24年から工事の期間中、熊川地区の諸事業に対し、献身的に参加協力いただきました。特に台風や豪雪など自然災害時には、度々重機を出して復旧作業をしてくださいました。また数々のイベントに参加いただき、交流の輪が広がり一層盛り上がりました。熊川いっぶく時代村の高所作業車試乗体験では上空からの眺望に感激しました。

ダムの完成により、企業体の方々はそれぞれ次の現場へ向かわれると聞きます。熊川での地域貢献に心から感謝申し上げますとともに、新天地での益々のご活躍をお祈りいたします。

(2ページに関連記事)

目次

- 祝！河内川ダム竣工……………1
- 河内川ダム建設工事地域活動の記録…2
- 寄稿文・事業報告……………3
- 研修報告・事業計画……………4
- 活動報告・話題……………5・6



転流溝見学(平成25年8月)



台風18号土砂撤去(平成25年8月)



伝建協大会協力(平成26年6月)



文化祭参加(平成26年10月)



上空からの笑顔!



体育会参観(平成26年9月)



バザー出店(平成26年10月)



イルミネーション設置(平成26年12月)



高所作業車試乗体験(平成28年10月)



建設現場見学(平成26年11月)



門松設置(平成26年12月)



建設現場見学(平成26年11月)



舞踊刀舞で
大盛り上がり!!



敬老会出場(平成29年4月)



除雪作業(平成29年1月)



省南振興局 河内川ダム建設事務所
高野所長講演(平成30年2月)



河内川ダム内覧会(令和元年6月23日) 写真提供:北川総合開発創業協議会

心から誇れる熊川宿を目指して

令和元年度熊川区長 石田 伝 男

熊川区では、重伝建に選定されたあと、町並みの整備と修理修景が進み、様々なまちづくり活動が行われています。

そんな中このほど、河内川ダム竣工工事が6月9日、盛大に行われました。ダム湖「明神湖」について、若狭町長から「三方五湖と明神湖の6湖をPRしていく」とお言葉をいただきました。ダム完成により洪水や濁水の心配がなくなり、今後は、周辺環境の整備が行われます。ダムと熊川宿の連携を図り、交流人口の増加を目指していききたいと思います。

まちづくり活動の交流や研修のため、全国各地から熊川にお越し



七夕飾り

いただくようになりました。また、2020年大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公 明智光

秀とゆかりのある「熊川城跡」への山道整備も始まりました。

このように、熊川宿もいろいろな方面から注目されるようになってきました。

一方で少子高齢化が進み、空き家が増えるなどの課題が多く存在しています。このような中、街道シェアオフィス菱屋様や熊川宿若狭美術館様など数軒がオープンされ、Uターンや移住して来られた方もおられます。

このほど、空き家・空き地の活用、まちづくり型観光の促進と雇用等を目指した新法人「一般社団法人 熊川プロジェクト」が発足しました。

熊川区としても、これらの活動に積極的に協力してまいります。

また、熊川区民の避難場所となる集落センターを併設した熊川宿伝承施設の建設、急傾斜地の対策、区内の安全対策など、安全・安心で住みやすい環境の整備を関係機関と協力して進めていきます。

そして熊川宿を訪れる方々には「暮らしが息づく熊川らしい町並み景観」と「歴史遺産」を堪能して頂きたいと思えます。

今年の総集会は、第三次熊川マスタープランに基づき、新たなまちづくりの方向性について皆さんと認識を共有するための場としました。玉井教育長や小堀県議会議員を始め、多くの皆様にお越しいただきました。

熊川宿若狭美術館の竹内事務局長から、昨年5月

にオープンした熊川宿若狭美術館の



近況報告と、若狭も熊川宿内での今後の事業計画について紹介いただきました。

今年、地域おこし協力隊を退任された飯野氏からは、熊川宿新法



人「熊川プロジェクト」の設立について説明がありました。新法人は、熊川宿の町並み保存と活用によって、地域の持つ豊かさを伝え世界中にファンを広げ、未来の子どもたちのために地域を活性化することを目的とします。

立命館大学経済学部八重樫ゼミの学生さんからは、若狭町で

の体験を元に幅広い観点で分析と提案をいただきました。熊川いっぶく時代村への参画、葛の晒しやお店での体験から、熊川宿に対する率直な感想と改善点、北海道長沼町との相対評価等、どれも参考となる魅力的な提案でした。



（株）デキタの時間代表から、街道シェアオフィス菱屋を中心とした体験事業と宿泊施設の一棟貸し等、今夏に向けて計画の説明がありました。事業を支援されるスタッフさんも紹介されました。

また平成30年度は、街道シェアオフィス菱屋や熊川宿若狭美術館を始め、幾つもお店がオープンするなど大きな動きがありましたので、八重樫島で北島さんが取組まれている空き家対策をドキュメンタリー映画化した「まちや紳士録」を上映し、理解を深めていただきました。



懇親会では、オードブルのご馳走に加え、鯖寿司、菊蕪の田楽、焼き椎茸、鯖サンドの差し入れもあり、大いに盛り上がりしました。

令和元年度
若狭熊川宿まちづくり特別委員会

事業計画 (R元フ)

- 5月18日 ツーデーマーチ協力
- 5月22日～24日 第41回全国伝建協議会
総会・研修会出席(秋田県横手市)
- 5月29日 第1回まちづくり委員会
- 6月 9日 河内川ダム竣工式(福井県)
- 6月15日～16日 東海ブロック町並みゼミ
飛騨市大会(岐阜県飛騨市)
- 6月30日 七夕飾り・ケイトウの種まき
- 7月28日 夏の社会奉仕(熊川区)
- 8月 1日 町並み通信第39号発行
- 8月 8日 若狭町伝建地区保存審議会
- 8月14日 街かど陶の灯り展 R1
(街かど陶の灯り実行委員会主催)
- 8月15日 納涼盆踊り(熊川区主催)
- 10月6日 第20回 熊川いっぶく時代村
(熊川いっぶく時代村実行委員会主催)
- 10月中旬 文化庁調査官を囲む会(熊川町)
- 11月9日～10日 地域づくり団体全国交流
研修会(兵庫県)
- 12月 まちづくり委員会・合同部会
(令和2年)
- 1月31日～2月1日 第42回全国町並みゼミ
川越大会(埼玉県川越市)
- 2月 1日 町並み通信第40号発行
- 2月 熊川宿まちづくり総集會
- 3月 令和元年度 最終まちづくり委員会
(随時・当面する活動)
- ・駐車場・駅前・道路・神社の清掃と草刈り、
看板の補修
- ・熊川城登山道調査・整備
- ・一般社団法人との連携・協力
- ・若狭町並みに近隣のまちづくり研修・交流会、
あす鳥大会などに参加
- ・ホームページ情報更新・SNS利用促進
- ・立命館大学経営学部学生の「熊川宿活性化」
レポート活用
- ・空き家活用ガイドの作成

らポートで
ルホテル
手セントラ
歡会は、横
た。情報交
演されまし
る、と御講
が必要であ
和45年)の歴史的環境の保全から観光、少子高
教授後藤治氏による「これまでの伝建、これ
からの伝建」でした。伝建の課題が開始時(昭
和45年)の歴史的環境の保全から観光、少子高
齢化、空き家などへ変化しており、多様な支援
が必要であ
る、と御講
演されまし
た。情報交
歡会は、横
手セントラ
ルホテル
らポートで



若狭町・熊川宿の参加者



増田伝建地区の町並み

力に感謝いたします。

今回の研修では、多くの方の大変心温まるお
もてなしをいただきました。関係者各位のご尽
な体験ができました。

3日目の午前中は雄物川民家苑や氷点下10℃の
かまくら、横手城等を見学させていただきました。貴重
な体験ができました。

今回の研修では、多くの方の大変心温まるお
もてなしをいただきました。関係者各位のご尽
力に感謝いたします。

と き：令和元年5月22日(水)～24日(金)
ところ：秋田県横手市増田伝建地区ほか
参加者：3名
報告：若狭町歴史文化課 河原島氏

横手市大会

開かれ、八沢木獅子舞を鑑賞しながら、全国各
地の保存会の方々や行政職員と交歓しました。

2日目の午前中は、増田伝建地区の大雪地域
独特の「内蔵」や切妻造妻入りの続く町並みを
視察しました。

午後の住民研修会では「これまで伝建地区を
どのように保存してきたのか。今後未来に向け
どのよう守っていくのか。」をテーマに意見
交換会が行われ、行政では「耐震対策」につい
て研修が行われました。各伝建地区の耐震対策
の課題は様々でしたが、それぞれの実情をお聞
きすることができて参考になりました。

情報交歓会は、増田体育館で開かれ、福島サ
イサイ、増田益おどりを鑑賞しました。若い横
手市長のウィットに富んだ御挨拶が印象的でし
た。

開かれ、八沢木獅子舞を鑑賞しながら、全国各
地の保存会の方々や行政職員と交歓しました。

2日目の午前中は、増田伝建地区の大雪地域
独特の「内蔵」や切妻造妻入りの続く町並みを
視察しました。

午後の住民研修会では「これまで伝建地区を
どのように保存してきたのか。今後未来に向け
どのよう守っていくのか。」をテーマに意見
交換会が行われ、行政では「耐震対策」につい
て研修が行われました。各伝建地区の耐震対策
の課題は様々でしたが、それぞれの実情をお聞
きすることができて参考になりました。

情報交歓会は、増田体育館で開かれ、福島サ
イサイ、増田益おどりを鑑賞しました。若い横
手市長のウィットに富んだ御挨拶が印象的でし
た。

東海町並みゼミ飛騨市大会に参加して

と き：平成元年6月15日(土)～16日(日)
ところ：岐阜県飛騨市古川町
参加者：3名
報告：若本 実

1日目は、講師が西村先生で「都
市から学んだ10のことーまちづく
りの若き仲間たちへ」と題して
講演が行われました。西村先生が
まちづくりの仕事に取り組む事の
きっかけとなった飛騨市、そして
若狭町熊川宿の事も話題にして頂き、
感極まって涙される場面もありま
した。

次に研究発表
として「飛騨古
川のまちづくり
のこれまでとこ
れから」と題して、
社会人3ヶ月の



若狭町・熊川宿の参加者



翌日の天候も気にな
りました。街並み探
索の時間になると雨も
小降りになり、時折晴
れ間も見られ、軒が化
粧された独特の街並み
を見学しました。

古川まつりで出され
る立派な山車蔵がいく
つもあり圧倒されて帰
って来ました。



2/11

丹波篠山市へ宿泊施設の視察

(熊川宿おもてなしの会)

古民家を改修してホテルや一棟貸しを行っている丹波篠山市の(一社)NOTEさんへ視察研修に行きました。丸山集落へも寄せていただき、運営面の工夫などについても研修しました。日帰り組と宿泊組に分かれ、宿泊組は一棟貸し宿泊を体験しました。



1/26

文化財防火デー

(若狭町・熊川邑)

第65回文化財防火デーに伴い、文化財を火災から守るため、通報・消火・文化財搬出などの訓練が実施されました。降雪の中、区民による消火器やバケツリレーの初期消火訓練、若狭消防署上中分署、上中消防団特別機動分団、第3分団、熊川自衛消防団による放水訓練が行われました。



1/19

あす県事始めの会

(福井市)

「新しい時代、若で築いてきた経験と英知で福井のため取組もう」と、あす県の吉岡会長が挨拶されました。今回の参加者は殆どが福井周辺の団体でしたが、日頃お世話になっている福井県の行政の方や、活発に地域活動をされている皆さんと貴重な情報交換ができました。



3/10

鯖街道の日連携イベント

(若狭町・まちづくり委員会ほか)

3月の第2日曜を「鯖街道の日」に設定し、小浜から京への鯖街道が連携してイベントが開催されました。熊川宿では、道の駅や熊川宿内でのお買物や公共施設の利用で、シールとスタンプを集めた方に、熊川宿をイメージしたオリジナル手ぬぐいをプレゼントしました。



3/5

金沢市の伝建地区から研修

(まちづくり委員会対応)

金沢市で近年、重伝建の選定を受けた「卯辰山麓地区」「寺町台地区」の皆様が視察に来られました。熊川の歴史と伝建地区の概要、建造物群の特徴、まちづくり活動と人材育成、自主防災活動を中心に紹介し、多くのご質問も頂戴し活発な意見交換となりました。



2/21

和の布あそびワークショップ

(一社)Switch Switch

うさぎのおじやみ(お手玉)を作るワークショップが旧逸見勤兵衛家で行われました。手作り品の販売や体験を通じて作り甲斐と熊川宿の活性化を目的に生涯現役促進地域連携協議会の委託を受けて行われ、ご指導は倉橋祥子先生。皆さん、口も手もよく動き楽しく作業されていました。



3/29

一般社団法人発足を町へ報告

(一社)熊川プロジェクト

かねてから準備を進めてきた熊川宿の町並み保全と活用を目的とする(一社)熊川プロジェクトの設立に伴い、若狭町長に報告しました。主な取組み事業は、「空き家の活用、新たな収入を得る、若者の活躍の場を作る」ことで、既存の地域活動団体と連携し事業を進めていきます。



3/17

伝民推進地区・百景活動発表会

(福井市)

熊川宿は、平成23年度に「福井ふるさと百景」活動団体の認定を受け、陶の灯りなど景観の保全・活用に取組んでいます。今年から開催された活動発表会に、若狭町や熊川宿から4名が参加しました。近隣では小浜市根来地区が伝民推進地区の指定を受けました。



3/12

鯖江の方から雛人形を頂く

(まちづくり委員会対応)

加藤さんは引越越しのご都合で7段飾りの雛人形を手放すことになり、HPを通して問合せをいただきました。役員で相談した結果、光木西邸や旧逸見勤兵衛家で展示する機会も多いことから、お言葉に甘えて雛人形をいただくこととし、早速12日の午後ご持参くださいました。



4/19

若狭名物の試食会

(街道シェアオフィス&スペース設置)

若狭の食材をちよつと違った食べ方で味わってみませんか?と、原宿「うさぎ」の店長で鉄板焼き職人田附亮シェフによる試食会が開かれました。菱屋を会場に、備前、近隣市町、遠方からお越しの多くの「初めまして」が生まれ、美味しい食事で大いに盛り上がりました。



4/17

日本遺産活用推進協議会

(小浜市)

日本遺産活用について実施報告と今年度計画の審議のため、小浜市・若狭町分科会合同会議に2名が出席しました。会議の主な内容は、日本遺産の道路案内標識を統一化するリニューアルが提案され、平成30年度の事業・決算報告、平成31年度計画について審議されました。



3/31

道路愛護デー

(備前区)

区内全域で街道の清掃やゴミ拾い、前川の土砂上げが行われ、この日も多くの区民が参加して作業を行いました。下ノ町では、食文化展示施設「村田館」や体験交流施設「与七」、バス停の清掃も行っていきます。この2軒の公共施設の閉鎖について、4月から下ノ町の全戸が清掃と併せて輪番で行うことになりました。



5/18

ティーデーマーチおもてなし

(備前区・備前女性会の会など)

備前街道備前宿コースの参加者に長捲鍋のおもてなしをしました。前日に具材の刻みをして、当日は朝7時半から準備をしました。また参加者の休憩を盛り上げるため、PAをセットアップし、曾我酒家福輔さんMCでウォーカーの皆さんと楽しいトークショーも実施しました。



5/15

高齢者大学校で講義

(大阪府)

大阪府高齢者大学校は、シニア世代を対象に社会で活躍できる多種多様な講座を開講されています。今年度から新たにスタートした「ローカル文化探検科」で、備前宿の町並み保存の取組みをお話しする機会をいただきました。講義は2時間の長丁場でしたが、皆さん興味を持ってお聞きいただいたようでした。



5/3

白石神社祭礼・山車巡行

(備前区)

4月末から祭り囃子の練習が行われ、前日の宵宮では、白石神社拝殿で元氣いっぱい囃子が奉納されました。天候に恵まれた祭礼当日は、山車に見送り幕が掛けられ、午前中の神事と囃子の奉納に続いて、午後から備前区内を山車が巡行し、ハレの日を祝いました。



6/30

七夕飾り・ケイトウの種まき

(まじろくり委員会)

前もって準備した折り紙や願い事を書いた短冊を持ち寄って、近所の子どもたちにも手伝ってもらい、今年も賑やかに飾り付けができました。ケイトウの種まきでは、県のグリーンセンターからいただいた種に加え、今年は採取した種もあり、みんなで教粒ずつポットにまきました。



5/26

大杉行者堂跡地に標柱設置

(若狭町・大杉住民)

大杉の行者堂の地に、大杉の方々や若狭町歴史文化課の職員2名で、石の標柱を設置しました。昨年、大杉行者講が長い歴史に幕を降ろしたことから、行者堂の地を後世に伝えようと大杉の皆さんによって設置されたものです。行者堂はかつて岳の中腹に建っていました。行者像は若狭町で預かって頂いています。



5/26

トロコ鯖焼きの屋台出現

国道303号沿いで鯖カフェを営む反田和宏氏が、まちなかにも賑わいを創出しようと児童館横の広場で試験的にトロコ鯖焼きの屋台を始めました。屋台は辻建築さん制作の可動式。この日は若狭路センチュリーライドが行われており、香ばしい焼き鯖の香りに誘われて多くのライダーが立ち寄っていました。